

CAGLIERO¹¹

カリエロ11



第4号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2009年4月11日

ドン・ボスコの宣教の夢は続く！

サレジオのミッションにたずさわる会員、友人の皆さん！



主はまことに復活されました！ ご復活おめでとうございます！ 宣教者の皆さん、各管区の宣教部門責任者の皆さん、そして心の中に宣教の火を燃やしつづけているすべての会員の皆さん、この奉仕の最初の年に私が出会った皆さんに感謝します。

パラグアイのチャコ、チリのバタゴニア、アルゼンチンの宣教地への最近の訪問を終えての印象をお話したいと思います。パラグアイのチャコを訪問したとき、パラグアイ川を小さな船で何時間もかけてさかのぼりました。厳しい気候、政治の問題などにもかかわらず、100年以上にわたってチャコの宣教地で働いてきた会員たちの犠牲と熱意について、思い巡らす時間がたっぷりありました。また、宣教地の小教区の、地元の言語によるラジオ放送（チャコとバタゴニア）の重要性も感じました。福音を伝え、この広大な地域に散らばって暮らす人々を結びつけるためです。年配の宣教師たちは敬服します。最後に派遣された宣教師は、パラグアイのチャコに31年前に来ました。最近、実地課程の二人の会員が宣教師として加わりました。実に55年ぶりの派遣です！ 一人はチリから（南米サウスコーン地域の連帯の目に見えるしるしとして）、そしてもう一人はパラグアイ管区の派遣です。チャコはパラグアイ管区に所属しています。

旅の間、宣教のあり方が変わってきているのを感じました。孤高の英雄のような宣教師の時代は終わろうとしています。若者のために奉獻された共同体として、若者のために働き、あかししたいという大きな望みを感じました。バタゴニア、またチャコは広大な地域で、人口は少なく（増えています）、一方、司祭、修道者、宣教師の数は減っています。残念なことですが、悲観的になってはいけません。喜びのうちに生涯を捧げる宣教師たちのあかしは、大きな喜びを与えてくれます。人材不足にもかかわらず、神の果てまでも福音は伝えられています！ 私にとってパラグアイ訪問の最大の喜びは、2009年9月の第140回宣教師派遣に、修練後の会員が志願したことかもしれません。

ブント・アレーナスへの旅では、すばらしい宣教博物館を見学することができました。アルベルト・アゴスティーニ神父が制作した映像を通して見ることで、ラテン・アメリカの先住民族の人々とのサレジオ会員の最初の出会い（サレジオ会最初の宣教師派遣）の記録が展示されています。

宣教師間としての仕事の初めにバタゴニア（アルゼンチン）を訪ねたかったのは、乏しさの中で福音宣教の仕事を遂行しながら、多くの困難を乗り越える助けとなった深い動機を、初期の宣教師たちの経験から学ぶことが大切ではないかと思ったからです。ある日の午前中は、バタゴニアのサバラ（ABBアルゼンチン・バイアー・プランカ管区）の宣教師たちとゆっくり話し合うことができ、私にとって喜びでした。福者セフェリーノ・ナムンクラゆかりの地への巡礼、特に、もうすぐ完成する記念碑がマプーチェの聖地として建立されているサンティグナシオ、フニン・デ・ロス・アンデスでは、とても感銘深いひと時を過ごしました。その場所で、私たちの宣教の130年に及ぶ歴史を通して下さるすべてのサレジオ会宣教師を、神に感謝することができました。セフェリーノは独りではありません。宣教師たちのおかげで、これらの地域の幾世代にもわたる若者たちが、すでにキリストと出会ってきたのです。これらの地域に新たに若いサレジオ会員が来ること、そして新たなマプーチェ、グアライの召命があることが、私の夢、祈りです。

パラグアイのチャコ代教区のサレジオ会員、サレジオ・シスターズと話しながら、自分の旅が韓国、ソウルから始まり、中国、ローマ、チリとたどってきたことに気づきました。たまたま、4日間で、バルパライソから北京へとたどったドン・ボスコの宣教の夢と全く逆の行程をたどったのです！！ 北京からバルパライソであろうと、バルパライソから北京であろうと、どちらでもかまいません。ドン・ボスコの夢は今も実現しつつあります。なぜなら、まだ完成途中だからです。実際に、イエス・キリストを知らない人の数は増えつづけているのです。

世界の131か国で働く会員たちを通して、サレジオ会の宣教の地平は広がっています！ いちばん新しい宣教地は北太平洋の島、グアムです。2008年の末から、フィリピン北管区による教育事業が行われています。福音宣教は、とどまることのない絶えざる旅です。このすばらしい宣教の時に私たちにいのちを与えてくださる主に感謝します。

神のしもべヨハネ・パウロ二世は、神が新しい福音宣教の春を準備しておられると確信していました。「わたしは新しい宣教の時代のおけほけを見えています。すべてのキリスト者と宣教者たち、とくに若い教会が、真実と聖性を通して、わたしたちの時代の呼びかけと挑戦にこたえるなら、このおけほけは、豊かな収穫を帯びた、輝く日となるでしょう。」（勅諭『我い主の使命』92）

本号の内容

- ・ ドン・ボスコの宣教の夢は続く！
- ・ 新しい宣教師求む（アジア、オセアニア）
- ・ 2008年4月 サレジオ会の宣教の意向
- ・ 宣教師の召命 鑑別の規準

私は、アルゼンチンのボレッティーノ・サレジオの2008年のカレンダーにあった、ある言葉に打たれました。「夢見るのは良いこと、その夢を実現するのはさらに良いこと！」
ドン・ボスコと共に夢見ることは確かに良いことです。しかし、その夢を実現させることはさらに良いことです。事実、サレジオ会の歴史の最良のページは、宣教師たちによって書かれたのです！

宣教顧問

ヴァツラフ・クレメンテ神父



ルイジ・ボッファ神父は宣教師50年、ペルーのアシアルの人々と

サレジオ会宣教地、新しい宣教師求む……！ (アジア、オセアニア)

管区・国	必要な言語	状況、求められる宣教師の資質
SLK アゼルバイジャン	ロシア語または英語、アゼル語	サレジオ会がmissio sui iurisを任されている。200人のカトリック信徒。穏健なイスラム教。スロバキア人以外のサレジオ会員を求む。
INC バングラデシュ	英語、ベンガル語	イスラム教国、2009年から事業が始まった。
THA ラオス	英語、ラオス語	2004年に信徒が技術訓練校を開設。修道会としての拠点を開くため、サレジオ会修道士を求む。共産政権。
VIE モンゴル	英語(ロシア語)、モンゴル語	少数の会員。第一次福音宣教。技術訓練校。技術者を求む。厳しい気候(零下の気温)。
FIS パキスタン	英語、ウルドゥー語	非常に少ない会員数。難しいイスラムの環境。技術教育。修道士を求む。
PNG-SI委任地区	英語、ビジン語	太平洋の島。30年たつが地元の召命は非常に少ない。技術教育事業。
AUL ニューゼaland	英語、マオリ語	200年に事業地の予定。ストリート・チルドレンのため。オークランドにすでに会員9名。
AUL サモア	英語、サモア語	技術訓練校。
LKC スリランカ	英語	非常に少ない会員数。タミール人と仏教徒の間の民族紛争。

宣教師の召命 識別の規準

(英語・伊語全文はwww.sdb.org参照)

一般的に召命識別のためには、3つの要件があります：正しい意向、自由な決断、適性と必要な資質。「良い会員」というだけでも、宣教に対して熱意があるというだけでも十分ではありません。熱意は往々にして続かないものです。

次の規準を考慮します：

- ✓ 絶えず注意を必要とするような問題のない、良好な健康状態。成熟していること。心理的なバランス。人間関係を築けること。責任感。異なる文化に適応できること。
- ✓ 共同体を生きたることのできる人。家庭的精神。共に働くことができ、その心構えがあること。謙遜、他者との対話に開かれていること。無私の犠牲の精神。
- ✓ 個人・共同体での祈りの生活。福音的勧告の実践、必要に応じる奉仕の心と惜しみなさ。それまでに働いてきた場で、使命への使徒的熱意がすでに見られること。外国語を身につける力量。人々を尊重し、相手の文化・宗教を尊重する。新たな国・文化に“生涯”献身する心構え。
- × 単なる冒険心。第三者に促されて決めること。個人的な問題、あるいは人間関係の問題から逃避するため。

出身管区の通常の共同体生活においてすでに問題のあった会員を宣教地に派遣することは、絶対に避けなければなりません。ふつう宣教地では、もっと大変な状況に置かれるので、そのような問題を解決する助けにはなりません。

2009年4月 サレジオ会の宣教の意向

ラテン・アメリカ各地の都市のストリート・チルドレンと、その教育・司教にたざざるサレジオ会員、信徒・協働者のため

ラテン・アメリカ諸都市の路上に暮らすストリート・チルドレンは約150,000,000人。サレジオ会員たちが、すべての大都市のストリート・チルドレンのために教育的な社会事業を始めてから35年以上がたつ。



エクアドルのキート、CAMIプロジェクトの子供たち